

吉賀中だより

令和6年9月26日
吉賀町立吉賀中学校
(文責：城市)

令和6年度 学校教育目標

「自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成」

めざす生徒像

- 誠実な生徒 【誠実】
- 自ら行動できる生徒 【自主】
- 新たな表現のできる生徒【創造】
- 学び合い高め合う生徒 【連帯】



2学期が始まりました（8 / 28 始業式）

学校の軒下にあるツバメの巣がすっかり空き家になりました（ツバメは若鳥たちの巣立ちを終えると、夏の終わりには軒下の巣を離れ川原にある葦などをねぐらにしているようです）。ようやく少しずつ朝晩が過ごしやすくなり過ぎゆく夏を感じます。とはいえ、今夏はこれまでにない猛暑が続く連日暑さ対策が求められましたし（まだまだ油断は禁物です）、同時に台風や地震、大雨等の災害にも苛まれた夏でもありました。幸いにもどの生徒も夏休み中に大病や大きな怪我などなく過ごせ2学期を迎えることができましたので安心してるところです。

今夏はパリオリンピック・パラリンピックが開催されました。連日テレビで声援を送った人もいますが、メダルを獲得する選手や一生懸命に頑張る選手の姿を見ているととても感動し元気づけられました。また、全国高校野球大会（甲子園）では、島根県代表の大社高校が粘り強い野球を展開し、次々と強豪校に勝ちベスト8に進んだ姿にも心をととても強く打たれました。

2学期始業式で生徒にも話しましたが、このオリンピックの選手や大社高校の選手のインタビューでの言葉には共通したものがありました。それはひと言で言う「感謝」です。ここまで関わってくださった方や支えてくださった方への感謝、大会を支えてくれた方への感謝など、たくさんの感謝の言葉を聞きました。メダルを獲得したり素晴らしい成果を出したり活躍したのは選手本人ですが、それらの様々な成果は選手一人の力だけでは成し遂げることができなかったことをしっかりと実感し、周囲の関わってくれ支えてくれた人々に感謝をする姿勢に、私は一番の感動を覚えました。他者との協力や支えと、そのことをきちんと受け止めて「感謝」として言葉にできること。とても大切なことだと思います。

2学期は、大きな学校行事の多い学期です。まず、9 / 14（日）には、小中合同運動会がありました。11月2日（土）には文化祭もあります。これまで支えてもらった方々への「感謝」や一緒に協力してくれることへの「感謝」の気持ちをもってひたむきに頑張る姿、一生懸命な姿は、日頃支えてくださっている方々に感動を与えることができると思います。始業式において、2学期は全校生徒が一丸となり「協力」と「感謝」を心にとめ、しっかり取り組んでいこうという話をしました。今学期も吉賀中の生徒の頑張る姿にご期待ください。

小中合同運動会（9 / 14）を開催しました

UPDATE
～あきらめずにみんなで協力～

運動会に向けて1学期から3年生を中心にして準備を進め、団結して練習に取り組んできました。2学期になると七日市小学校の児童も加わり、自分たちだけでなく小学生やご家族の方、地域の方々にも大きな感動を与えることのできる運動会にしようと連日の猛暑の中、「UPDATE～あきらめずにみんなで協力～」をスローガンに掲げて準備と練習にも熱が入ってきました。

当日は天候に恵まれ、絶好の運動会日和というよりも更に暑い真夏日ではありましたが、当日までの練習の成果を存分に発揮し青組・赤組とも全員が一丸となって全力で競技に臨む姿に感動しました。児童・生徒の「協力」する姿は来場された皆さんにはどう映りましたでしょうか。競技ですので勝敗はありましたが、勝って互いに喜び合う姿、負けても互いに称え合う姿、裏方の役員で懸命に務める姿。どの場面でも一人一人がこの運動会を素晴らしいものにしようと力を尽くして煌めく汗を流し頑張る姿がありました。私は吉賀中学校の生徒を誇りに思っています。全

力を尽くして取り組みやり遂げる姿、本当に素晴らしい運動会でした。そして、保護者や地域の皆様にご覧いただけたことをとても嬉しく思っています。

保護者・地域の皆様には、早朝来よりお越しいただいた上に温かいご声援と拍手をいただき本当にありがとうございました。この運動会で得た成果を今後もあらゆる場面で活かしていきたいと思えます。今後ご協力・ご声援をよろしくお願いいたします。

◇総合優勝 赤組



◇パネル賞 青組



◇応援賞 赤組



◇小中合同全校リレー 青組

◇リーム回し 3年生

『UPDATEの実現』 3年 吉本 歩未

私たちの学校では、小学校と中学校が合同で運動会を行います。小中学校合同で行う競技もあり、毎年とても盛り上がります。

1学期の終わりごろから徐々に運動会準備が始まり、私たちはやる気に満ち溢れていました。しかし、スローガンを決めたり、パネル作成者や競技担当者を決めたり、それぞれの役割を担っていく中、私たちは一つ一つの役割の重みに、少しずつ気付かされていく毎日でした。スローガンにもある「UPDATE」をどう実現していこうかなど、それぞれの意見が出される度にぶつかり合っていました。きっと3年生9人それぞれに不安だと思うこともたくさんあったことと思います。しかし、私から見たみんなはそんな不安の中でも、一人一人運動会を成功させたいという強い思いが溢れ出ていました。私たちのその思いは中学校全体に、そして小学校全体にも広がっていきました。間に合うだろうか、と言う声もありました。しかし、それ以上にそんな不安を打ち消すような、前向きな言葉が学校全体を包んでいました。全体の士気が少しずつ上がっているのが目に見えてわかりました。

運動会ではどうしても勝敗がついてしまいます。勝敗に納得がいかない「悔しい」や「嬉しい」などの思いも必ず出てきてしまうことは、経験上私にはわかっていました。どんな思いで結果を受け止めるのだろうと、運動会後のみんなのことを心配する気持ちもありました。迎えた当日、勝敗に左右されることなく一人一人が目の前の競技に全力で向かい、迫力のある運動会に仕上がりました。そして、「楽しい運動会だった！」という言葉が自然とみんなの口からこぼれる日になりました。

いろいろな思いを経験する中で、責任という重さに押しつぶされないように耐え壁をみんなで乗り越えてきたからこそ、心の底から楽しみ喜べる私たちの運動会になりました。これから私たちが最上級生とし

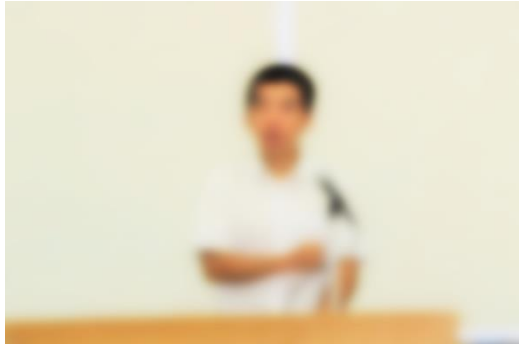
て進んでいく道には、壁がきつと立ちはだかるはずでず。その壁に立ち向かって行ける、そんな大きな一歩を踏み出せたと私は思います。

応援練習が厳しかったり炎天下の競技練習が辛かったり、苦しい中で下級生たちを引っ張っていく難しさを共有した同級生との時間は貴重な体験でした。いいことばかりではない経験の中で、集団としてもがきながらでも前へ進むためにどうすればいいのか考えていく力がついたと思います。勇気をだして、9人でこれからも壁に立ち向かっていきたいです。それぞれに違う道を歩き始めるまで、残された最上級生としての私たちの時間に、この経験を生かしながらその時々ぶつかったり悩んだりして、みんなで挑戦していきたいと私は思います。(本年度「へき地灯台」(へき地教育研究会発刊)に寄稿しました)

鹿足郡少年の主張大会(9/4)

鹿足郡中学校少年の主張大会が、9/4(水)に六日市基幹集落センターにおいて開催されました。当初は8/29(木)の開催予定でしたが、台風10号接近のため延期されました。

本校からは、学校代表として湊谷智弥さん(3年)と岩原 郡さん(3年)の2人が、それぞれ「努力することの意味」、「ドキドキとワクワク」と題して、自分の考えを堂々とした態度で立派に述べてくれました。2人とも野球部でのプレーや練習の中で学んだことや経験したことを元に、自分の生き方や今後のあり方を考えた主張で、とても力強い意思も感じました。審査の結果、2人とも優良賞で県大会出場は逃しましたが、2人の未来に大きな期待を寄せることができました。



また、郡大会に先立ち、学校代表を選出する校内弁論大会を7/12(金)に開催しました。学校代表になった2人に加え、各学年代表の神谷煌太さん、松原凜駆飛さん、安部蒼良斗さん、水上花穂さん、山田瑠菜さん、上田夏希さんがそれぞれの体験を通し日頃考えていることをしっかりと述べてくれました。どの生徒も甲乙つけがたい素晴らしい主張でした。

島根県中学校総合体育大会の結果

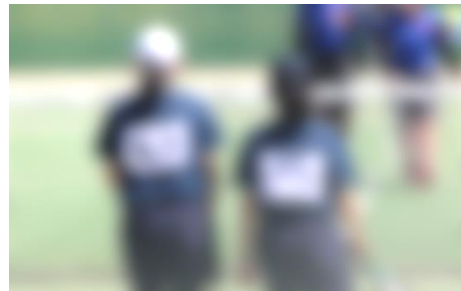
島根県中学校総合体育大会(県総体)の女子ソフトテニスの部(個人戦)と女子バレーボールの部に出場しました。

◇女子ソフトテニス結果

(7/22: 島根県立浜山公園テニスコート)
1回戦 水上・山代 0-4 都万中(隠岐の島町)

まず、女子ソフトテニスは、7月22日(月)に島根県立浜山公園テニスコートで開催されました。本校からは、水上花穂さん・山代結絆さんペア1組が出場し、1回戦で都万中(隠岐の島町)のペアと対戦しました。

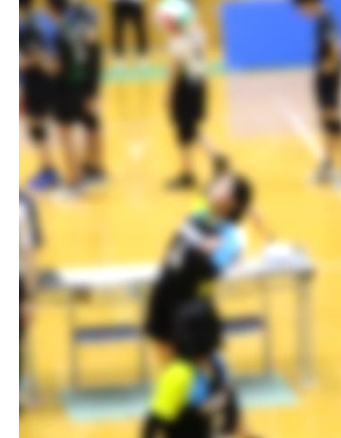
残念ながら敗れはしましたが、素晴らしいプレーも発揮できましたし今後につながるとてもよい経験にすることができました。今後の女子ソフトテニス部の活躍に期待しています。



◇バレーボール結果

(7/24: 島根県立浜山公園体育館)
2回戦 吉賀中・柿木中 0-2 島根中

バレーボールは、7月24日(水)に島根県立浜山公園体育館(カミアリーナ)を会場に開催され、柿木中との合同チームで島根中(松江市)と対戦しました。残念ながら敗れはしましたが、手に汗握るシーソーゲームの大接戦を展開しました。本校の女子バレーボール部は、本年度は本大会が最後の大会となりましたが、締めくくりの大会で吉賀中学校の名をしっかりと刻むことができました。大会当日は、猛暑の中、遠路たくさんの保護者の皆様に駆けつけていただいた上に大声援をいただきました。選手もとても心強く感じ精一杯のプレーを発揮することができたと思います。本当にありがとうございました。



修学旅行に行きました(3年生)

コロナ禍で実施ができなかった修学旅行は、昨年度から3年生(1学期)での実施となりました。町内3中学校が合同修学旅行団(生徒28名)を組み、行き帰りには飛行機を利用しました。災害時や発病時の対応等を考慮し飛行機以外にも代替交通機関のある行き先を選び、今年度も東京方面に6月26日(水)から28日(金)の2泊3日で出かけました。

初めて飛行機や地下鉄の利用をするという生徒、初めて東京へ行くという生徒が大半で、事前学習の段階からワクワクとした期待感とドキドキとした不安感を持ちながらの修学旅行となりました。東京大空襲資料センターでの語り部さんの体験談を伺うなどの他所ではできない平和学習もできました。2日目には班別自主研修も行いました(朝、浅草のホテルを出発しJR舞浜駅に各グループで集合)。日本唯一の立法府である国会議事堂や澄川喜一さんゆかりの東京スカイツリーの見学、東京ディズニーランドでの体験、お台場や日本未来科学館の見学など3日間の中にはたくさんの見学や体験を盛り込みましたので、たくさんの学びと体験を持ち帰ることができました。準備段階でも地下鉄の乗り方や路線の選び方をどうするかなど、既にたくさんの学びがありました。1日目には、2日目の班別自主研修での地下鉄利用の練習を兼ねて、月島から東京スカイツリー、そして浅草まで全員で地下鉄を利用しました。丁度、通勤帰りの時間帯だったので満員電車に乗車する経験もしました。

3日間、幸いにもひどい悪天候に見舞われることなく、予定していた旅程通りに全行程を無事に終えることができました。3年生の皆さん、この修学旅行での学びを是非今後の学校生活にも活かしていきましょう。

